4 家庭における読書のすすめ

～豊かな心をはぐくむ本との出会い～

★読んでもらった絵本が、子どもに楽しみと喜びを与え、心に深く刻まれることで、子どもを本好きにする原動力になります。それが読書への大切な入り口です。毎日、寝る前のひとときを読み聞かせなど、子どもと保護者とで過ごす読書の時間にしましょう 。

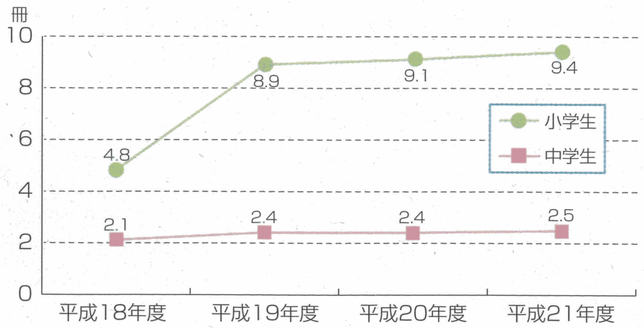
家庭における読み聞かせは、子どもが本の楽しさを実感し、読書習慣を形成するきっかけになるとともに、情緒の安定やことばの獲得のためにも大切なことです。本を通して得られるふれあいは、子どもと保護者との信頼関係を深め、子どもの心に幸福感を与えます。絵本を読んでもらっている時間は、子どもにとって保護者の関心が自分に向けられていることを実感できる幸せなひとときです。

本には、「喜び、悲しみ、驚き、憤り、愛･･･」などの感性を刺激する材料がたくさんつまっています。乳幼児期に絵本や物語等に親しむ体験は、子どものことばと心の発達に影響するだけでなく、豊かな人間性をはぐくむ上でも重要です。

～豊かな学びをはぐくむ読書習慣～

★家庭を原点として読書習慣が子どもの生活の中にしっかりと根付いていくよう、家庭において保護者が積極的に関わりを持ちましょう。

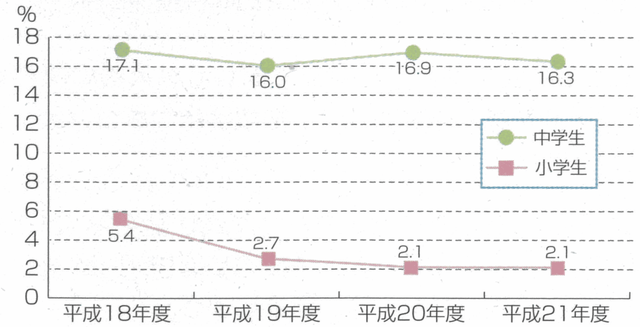
図22 「1ヵ月あたりの平均読書冊数の推移」



平成21年度読書に関する調査（福島県教育委員会）

本県の子どもたちの「1ヵ月の平均読書冊数」は少しずつのびていることがわかりました。

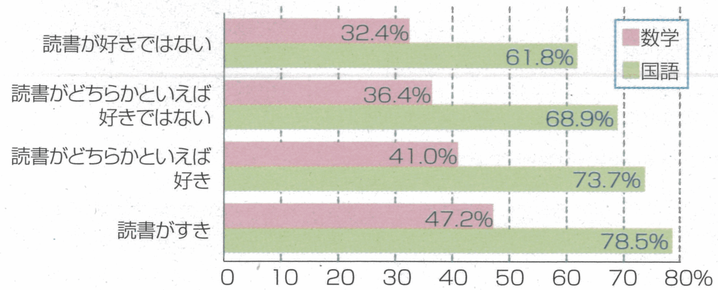
図23 「1ヵ月に1冊も本を読まない割合の推移」



平成21年度読書に関する調査（福島県教育委員会）

「1ヵ月に1冊も読まない」と回答した子どもたちの割合は減少してきています。

図24 「読書が好き」と「学力調査正答率」との関係



平成22年度全国学力･学習状況調査（文部科学省）

「読書が好き」と回答している生徒の方が記述式問題の正答率が高い傾向が見られます。

◆参　考

平成13年「子どもの読書活動の推進に関する法律」が制定され、子どもの読書活動の推進に関し、子どもの健やかな成長に資することを目的とした基本理念が定められました。子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を4月23日と定めています。

本県では平成22年3月、「福島県子ども読書活動推進計画（第二次）」を策定して、子どもの読書活動を推進しています。